

センターだより

第52号

平成31年3月19日発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
☎017-764-1997 FAX017-728-6351

あいさつ

“授業力”向上から“教師力”向上へ

日頃より当センターの事業に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度の研修講座につきましては、「“これからの学び”につながる“授業力”向上」をテーマとして開講され、受講者延べ4,585人の参加があり、お陰をもちまして1月28日をもって183講座すべて終了しました。教職員の皆様におかれましては、学校での業務等多忙な毎日を送る中、“来所型研修”に参加・受講いただきありがとうございました。

また、“訪問型研修”としての「校内研修等講師派遣事業」につきましては、学校等への指導主事等の派遣回数190回、参加者数延べ5,565人でありました。特に今年度は日程の調整がつかず、訪問をお断りするケースも多々ありましたが、それでも、前述の研修講座参加者数と合わせますと年間で約1万人(延べ人数)の教職員が何らかの形で研修に参加したことになります。

話は変わりますが、当センターは長野冬季五輪での“原田選手の大ジャンプ”に日本中が沸いて間もない1998年春にオープンしました。それから平昌冬季五輪(2018)まで5度の冬季五輪を経て“成人”となり、今年度でセンターは21年目を迎えております。この間、私は縁あってセンターと学校間の転入出を何度か繰り返し、ソルトレイクシティ、トリノ、ソチと計3度の冬季五輪が開催されたときは当センターにて勤務し、研修講座の業務等に関わってきました。

センター開所以降、学習指導要領は3回改訂(1998,2008,2017年告示)されました。1998年の改訂では「教育内容の厳選」や「総合的な学習の時間の新設」、2008年の改訂では「各教科等における言語活動の充実」など時代の流れとともに学力観もその都度見直されてきました。今回の改訂(告示)は、これからの予測困難な社会構造の急激な変化に応じた内容となっており、高大接続システム改革会議の最終報告(2016.3)では「我が国と世界が大きな転換期を迎えた現在、この教育改革は、幕末から明治にかけての教育の変革に匹敵する大きな改革であり、それが成就できるかどうか我が国の運命を左右す

ると言っても過言ではない」と述べられております。新学習指導要領は幼稚園ですでに今年度から実施され、小学校・中学校では今年度からの移行期間を経てそれぞれ2020・2021年度から完全実施、高等学校は2022年度から年次進行で実施されます。当センターでは国や社会の動向を踏まえながら、学校を支援するために主業務である研修・研究・教育相談・教育情報の収集及び提供等をこれからも充実させていきます。

次年度(2019)の研修講座は、「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上」をテーマとして開講いたします。どの研修講座も、教職員の専門性及び資質・能力の向上を目指し、昨年2月に策定した「校長及び教員の資質の向上に関する指標」を踏まえ、学校組織・運営の充実とこれからの時代に対応した教職員の資質・能力の向上につながるものとなるよう編成しました。今年度とのテーマの違いを一言で表すと“授業力”向上から“教師力”向上へ変わったことです。これを数学で用いる集合の包含関係で表現すれば“**授業力**” \subset “**教師力**”となります。つまり、今まで以上に教師の力量が幅広く求められ、そこには学び続ける教員であってほしいという願いが込められています。

当センターでは、研修プラン等の立案に役立てていただくため、「キャリアプランシート」を作成しWeb公開しています。センターWebページの「校長及び教員の資質の向上に関する指標」のバナーからシートをダウンロードしてください。先生方には、このシートを活用していただき、将来自分が目指す教員像を踏まえた上で、どのような道筋で資質の向上を図っていくかというキャリアパスを意識しながら自身の長所や個性の伸長を図っていくことに役立てていただければ幸いです。

これからも当センターは教職員の皆様と共に子どもたちの未来を創るために、所員の心と力を結集して学校を支援して参ります。今後とも何卒よろしく願いいたします。

(県総合学校教育センター 副所長 成田弘行)

B04 カリキュラム・マネジメント研修講座

カリキュラム・マネジメントで **学校は変わる!**

理論はなんとなく分かるけど、具体的に何をどのようにすれば?

学校を変えてきた清水仁校長先生の **豊富な実践事例** が盛りだくさん! カリキュラム・マネジメントの **効果的な展開** についての理解を深めます!

理論を踏まえた実践へ

一人一人の頑張りの限界... 先生方の連携・協働が実質化していない?

カリキュラム・マネジメントの3つの側面
 ① 教育内容の教科等横断的な並び
 ② FDCAサイクル
 ③ 内外の教育資源の活用

午後0時半講座 10/31 (木) 13:00~16:00

講師: 東京都新宿区立西新宿小学校 校長 清水 仁 氏
 カリキュラム・マネジメント指導者養成研修の事例発表者
 元東京都東村山市立大位小学校副校長

B11

道徳教育推進教師 研修講座

6月20日(木)

2日講座

6月21日(金)

小学校・中学校・**高等学校**・特別支援学校

新任推進教師の皆さん

道徳教育推進教師の**役割と実際**

について、一緒に学びましょう!

推進教師?

全体計画?

学校全体?

教科等との関連?

道徳授業と評価?

講師: 東京学芸大学 大学院 教育学研究科
 教授 永田 繁雄 氏

C49

中学校英語授業づくり 研修講座

小・中・高等学校、継ぎ目のない
 英語教育を目指して

小学校や高等学校で、どのような指導が行われているかを知り、それを踏まえて英語教育における中学校の役割について考えます。

10/10(木)

2日講座

10/11(金)



10月11日(金)

関西大学 外国語学部
 教授 田尻 悟郎 氏

D04 運動部活動研修講座

子どもたちに、豊かなスポーツライフを実現させることや学校生活を体験させるため、運動部活動の指導の在り方を振り返る機会とするとともに競技経験がない教員でもできるコーチングについて学びます！

10/25(金)

今まで自分本位の指導に偏っていたかなあ…。



競技経験がない競技の顧問になって何だか不安だな…。

午前

実践発表(運動部活動指導の工夫)
【県内中学校・高等学校の先生による】

午後

◇講義・演習
「生徒の意欲を引き出す
運動部活動のコーチング」

コーチングの仕方を学んでみよう！

◇講師
日本体育大学
教授 伊藤 雅充 氏



D05

「気になる子供」のかかわり方研修講座

「気になる子供」とは、子供自身が一番困っていると捉えて保育や授業を見直すことが重要

本講座では子供自身の居場所を安心できるものにするためのかかわり方を学びます。

9月26日(木)

国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
総括研究員 久保山 茂樹 氏

D21

使ってみよう！ 電子黒板活用講座

1日
講座

7月25日(木)

申込締切
6月27日
お早めに！

学校の中に眠っているICT機器はありませんか？

電子黒板(大画面TV)、プロジェクタ、実物投影機、タブレットPCなど、様々なICT機器がありますが、使用に関して実は決して難しいものではありません。

児童・生徒の興味関心を高めたり、課題を明確につかませ、思考や理解を深めるなど教育効果が高まる使い方ができるようになる講座です。



ICT機器の繋ぎ方から学びます。

明日からすぐに使える。
そんな講座になっています。

このほかの特色ある講座については、3月14日付けで、各学校へ配付しました『2019年度研修講座案内』にて、紹介していますので、そちらもご覧ください。

青森県総合学校教育センター
2019年度

研修講座案内



Webによる登録申込みに係る「ログイン情報」は、差布にあります。

本冊子は、2019年度に開催するすべての講座について、期間、対象、各講座のPR等を掲載したものです。各キャリアステージに応じた様々な講座を開催しますので、是非ご覧になり、見直しをもった研修の計画をお願いたします。